

「水泳1キロ、自転車20キロ、マラソン10キロ以内のミニ大会なら、だれにでもできると思います」と中村さん



水泳、自転車、マラソンの三種目を一人でこなすトライアスロン。鉄人レースと呼ばれるこの競技は、六年前

から鳥取県若狭市をはじめ、沖縄県宮古島など全国各地で盛んに行われ始めました。市内にも、この過酷なレ

スに挑戦を始めた人がいます。中村さんは、この八月に山形県で開かれた温海ミニトライアスロン大会に出場しました。「一キロの水泳がいちばん大変でした。勝敗に関係なく愛好者として楽しんでます」と話す中村さん。三種目とも昔からやってきたわけではなく、市のレク協会で十五年間続けてきたオリエンテーリングの足だけ頼りだそうです。大会への参加は、県トライアスロンレーシングクラブとして登録。このクラブには、

宮古島などの大きな大会の経験者も何人かいます。「大きな大会は、申し込んでみてもなかなか出れません。ミニ大会をもっと開いてもらえば、出る機会が増えるんですが、準備はたくさんあります。一種目だけだとエキスパートがたくさんいて難しい。これからよりは可能性が広がる複合競技の時代になると思います」と中村さんは話します。

現在、自転車の練習がてら、月一回の下田村から福島県への三十キロの自転車レースに参加。ふだんは家の近くの道路を十キロくらいランニングしているそうです。「水泳がやはり難しく、一キロ泳ぐのに三十七分もかかります。この夏は海に三回しか行きませんでした。こんな男でも参加してるんですから、だれにでもできますよ」と笑いながら話す中村さん。現在、市内で愛好者グループを作ろうと、仲間を求めています。いつしよにやってみたいと思う人は、中村さん(☎74653)へ連絡してください。



青春する人 この指とまれっ!

第10回 青年の祭典

11月1日(土)~3日(月)・青年教育センター
イベント参加者募集

いずれもお問い合わせは青年教育センター(☎2800)へ。
ダンスデモンストレーション 1日(土)・20時~ 参加無料。
当日受付—踊れる人はもちろん、踊れない人はそれなりに踊れるよう、当日無料講習会で手を取り足を取り親切に指導
コンサート 踊ろくクラッシュ—ローズとともに 1日(土)・21時~ 参加無料。当日受付—東京でも味わえないニューロックで、世代を超えたセンター族に変身しよう!

市長杯争奪綱引き大会 2日(日)・9時~ 参加費=2,000円。受付=10月20日まで。チーム編成=1チーム8人(女性3人を含む)。8人集まらなくとも女性が3人以上いれば可。豪華賞品多数有り

ミニ運動会 2日(日)・13時30分 無料。当日受付。運動のできる服装で—だれでも気軽に参加してください。豪華賞品を多数用意してお待ちしています

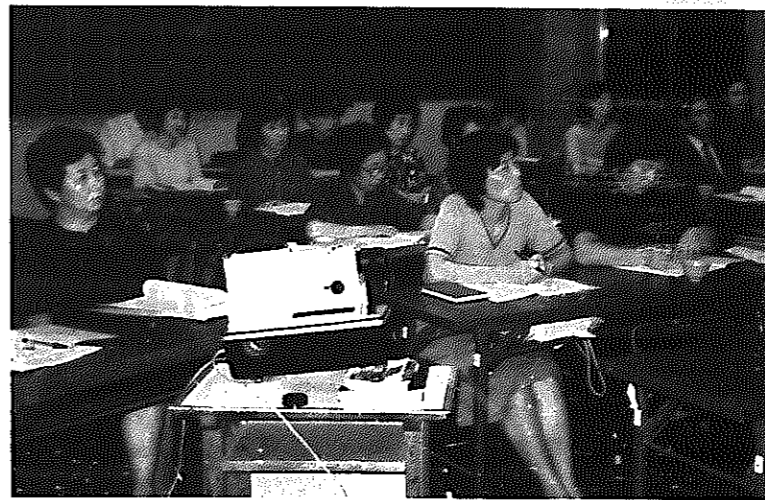
ころりん村スキー映画の夕べ 2日(日)・18時~ 前売券=300円。ただいま好評発売中—克雪の第一歩はスキーです。スキー映画鑑賞からスキー用品の抽選会と、楽しくなければスキーじゃないノをモットーに企画します。あなたの探究心をきくと満足させることでしょう

ガラクタ市 3日(月)・9時~12時—皆さんの家庭にある手に持てるくらいの不要品を寄付してください。青年教育センターにご一報くだされば、近くの青年が引き取りにうかがいます。10月20日までお願いします。

カラオケ大会 3日(月)・13時30分~ 参加無料。受付=10月20日まで。先着20人。テーブル持参のこと—だれでも気軽にご参加ください。豪華賞品を用意

手作りクッキー・バンコナー 3日(月)・10時~11時30分 参加費=50円。受付=10月20日まで。先着100人—ちびっ子から3世代そろってバターロールやクッキーを作ってみませんか。「センターの料理大好き」と称して、思いどおりのお菓子を作りましょう。材料はすべて用意しておきます。

その他 バザー—軽食、浜焼き、わたあめ、かき氷など 展示—書道、華道、リコンストラクションカー試乗、OAとニューメディア、VTR、手話。なわとび、らくがき、金魚すくい... 詳しいことは本紙10月15日号(お知らせ版)をご覧ください。



秋の夜長に深まる教養

市民大学講座を開講

期日	学習テーマ	講師
10月29日(水)	円高とは。これからの農業	新潟経済社会リサーチセンター 事務局次長兼研究部長 原 敏明氏
11月14日(金)	円高と製造業。これからの賃金	
11月21日(金)	円高と小売業。これからの暮らし	

〔受講できる人〕 市民または市内に勤務する人。
〔募集人員〕 約五十人。
〔学習日程と内容〕 別表のとおりです。
〔会場〕 中央公民館研修室。
〔学習時間〕 午後七時三十分から九時三十分まで。
〔費用〕 教材費として千円。
〔申し込み・問い合わせ〕 十月十五日までに、中央公民館(☎3174)へ。定員になりしだい締め切ります。

市民芸能祭の出場者を募集

11月16日(日)と23日(日)、産業厚生会館で開かれる市民芸能祭の出場者を募集しています。
〔内容〕 郷土芸能、演劇、音楽、舞踊、浪曲、詩吟、落語、民謡など
〔出場料〕 無料
〔申し込み・問い合わせ〕 出場を希望する人は、10月9日まで社会教育課社会教育係(☎3171)へお申し込みください。

昨年、市民大学講座を受講しましたが、まことに有益な勉強でした。私なりに、子供に「勉強しなさい」と言うことも多いと思う中で、大人もまた大いに学習することがあるのも悪いことではないと思っています。多忙な中にも有益な講座の二時間を見逃がしている人も多いのではないのでしょうか。「文化、文学、時事問題」など、何を聞いても専門の講師(論説委員、大学教授など)とあって、高度の分野のものでわかりやすく、貴重な時間です。市民のために足を運んでくださる講師の生きた学習のチャンス学習意欲によってつかむこともできるのではないのでしょうか。授業時間の十五分間の休憩は、セルフサービスの緑茶を飲みながらのコミュニケーションで、それもまた楽しいひとときです。授業が始まると虫の鳴き声、真剣そのものです。終わって後始末も数分、学習して帰る足どりもまた軽く、老若男女を問わず北は大塚、大通、南は庄瀬方面から参加された皆さんの学習意欲には頭の下がる思いです。せっかくの機会を市民が大いに活用し、教養を高めることは、人生を楽しくしてくれるのではないのでしょうか。学習した成果は一家の中にも広げ、家庭で語り合いませんか。コミュニケーションのリーダーになるためにも?

昨年受講した入山徳治さん(保坂から、九月五日、係に届いたお便りです)

今年の円高と日本経済

あなたは参加したことがありますか。市民大学講座は、市民の皆さんから幅広い教養を身に付けていただくこと、毎年、中央公民館が開いているものです。学習テーマは、人文・社会・自然科学関係などから選ばれています。七年目を迎えた今回は、「円高と日本経済」です。最近の新聞に「円高」の二文字が載らない日はないというほど、日本経済に深刻な影響を与えています。講座では、円高が産業や暮らしに与える影響と、これにどう対応していくかなどを学んでいただきます。秋の夜長のひとときに、あなたも気軽に参加して専門知識に触れてみてはいかがでしょうか。生活の幅を広げるうえで、きつとお役に立つことと思います。

